

IV 柳川市の産業別状況

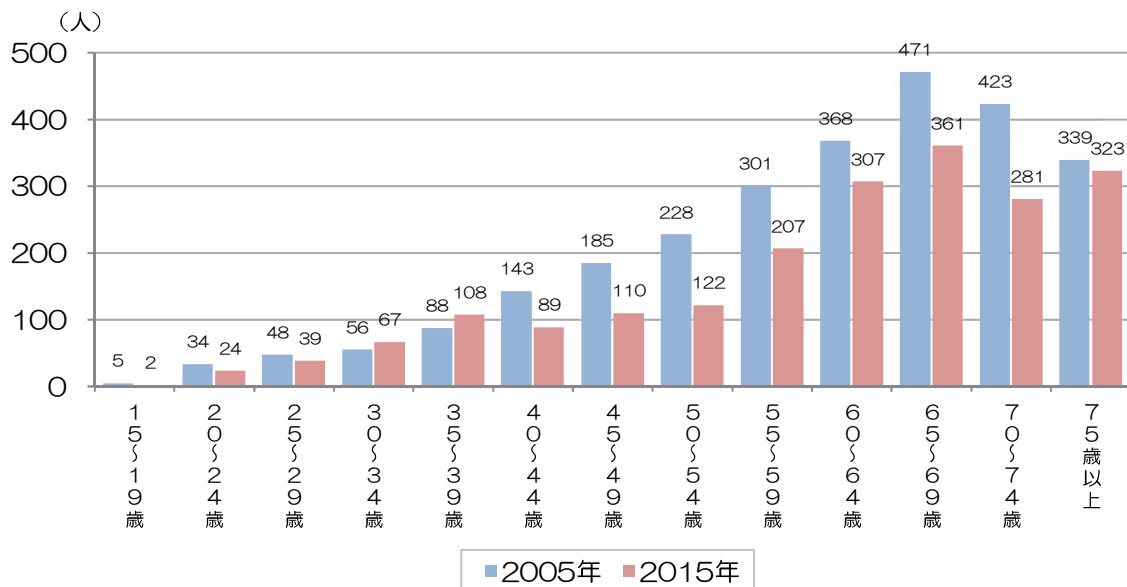
1 農業

(1) 農業就業者の状況

2005 年 2,689 人と 2015 年 2,040 人の農業就業者数を比較すると、649 人減少しており、減少率 24.1%は県全体の 22.8%を上回っています。

農業就業者の定着率をみると、高齢者層を除くと、ほとんどの世代で 1 を上回っており、農業を辞めていく高齢者がいる一方、それ以外の世代が新たに農業を始めています。

年齢階級別農業就業者数の推移



※「総務省：国勢調査」より作成

農業就業者に関する指標（他市等との比較）

	柳川市		八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市	福岡県	国
	偏差値	数値								
農業就業者数 減少率 (%)	43.7	24.1	23.5	13.7	22.6	24.5	22.9	22.3	22.8	25.9

※「総務省：国勢調査」より作成。減少率は 2005 年と比較した 2015 年の減少割合を示す

<用語解説>

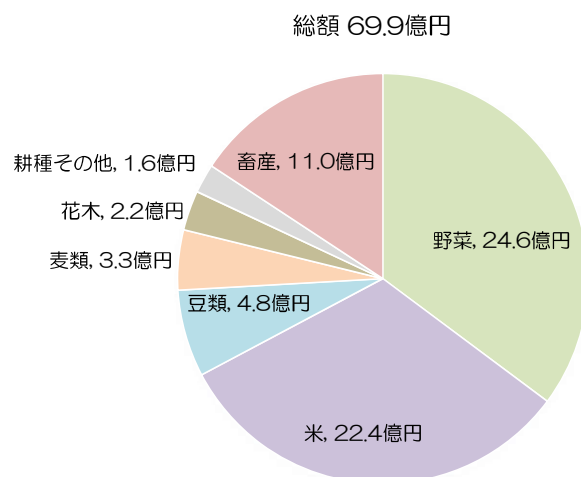
定着率は、ある世代の 2005 年の就業者数が 2015 年にどのように変化したかを示す（例：2015 年の 25～29 歳就業者数／2005 年の 15～19 歳就業者数）。

(2) 農業産出額の状況

2016 年の柳川市の農業産出額は 69.9 億円です。「野菜」が 24.6 億円と最も大きく、次いで、「米」の 22.4 億円、「畜産」の 11.0 億円の順となっています。

農業生産額の推移をみると、2011 年度以降、49 億円前後で推移してきましたが、2017 年度は 54.0 億円と上昇がみられました。

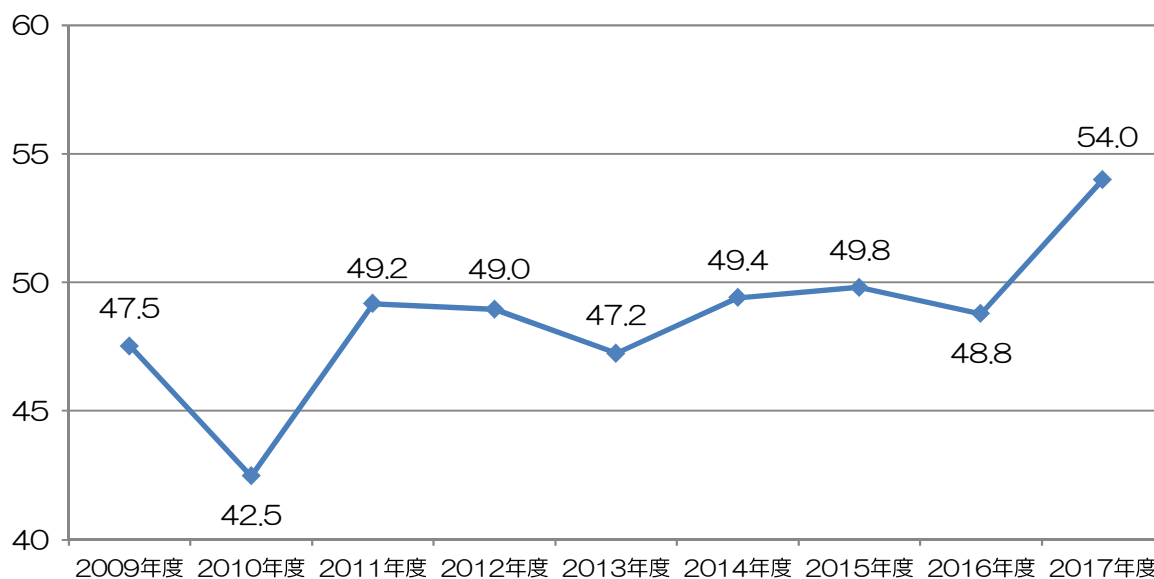
農業産出額の内訳 (2016 年)



※「農林水産省：平成 28 年市町村別農業産出額（推計）」より作成

農業生産額（J A 柳川の受託販売品取扱実績）の推移

(億円)

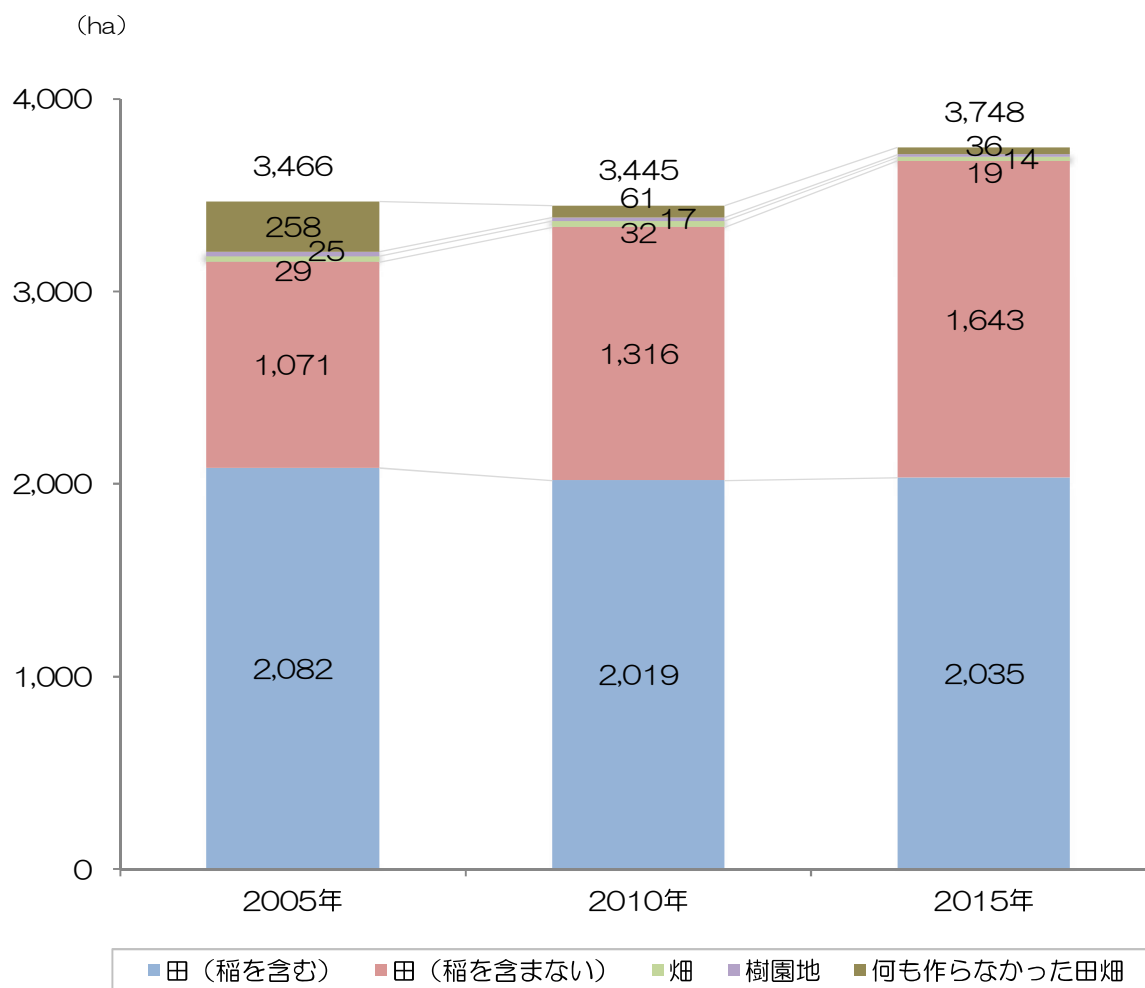


※「J A 柳川：公表資料」より作成

(3) 耕地面積の状況

2005年と2015年の経営耕地面積を比較すると、「田（稲を含まない）」が増加した影響により、282ha（8.1%）増加しています。また、「何も作らなかった田畑」が減少しており、以前と比較して経営耕地が活用されている状況にあります。

経営耕地面積の推移



※「農林水産省：農林業センサス」より作成

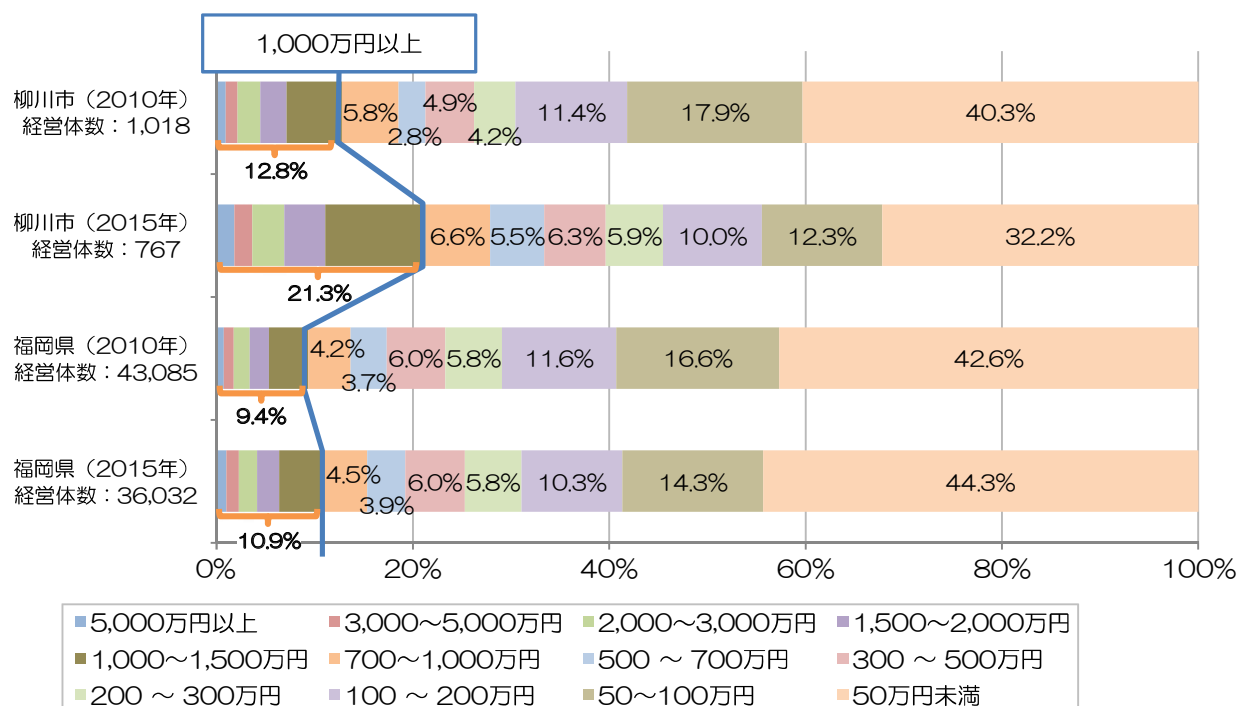
(4) 農業経営体の状況

2010 年 1,018 経営体と 2015 年 767 経営体の農業経営体数を比較すると、251 経営体 (24.7%) 減少しています。

農産物販売金額規模別の経営体数をみると、農産物販売金額 100 万円未満の経営体数が減少している一方、農産物販売金額 1,000 万円以上の経営体数の実数、割合ともに増加しています。

経営体に占める農産物販売金額 1,000 万円以上の経営体の割合を筑後地域の他市と比較すると、筑後市に次いで、高くなっています。

農産物販売金額規模別経営体数の推移



※「農林水産省：農林業センサス」より作成

農業経営体に関する指標（他市等との比較）

	柳川市		八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市	福岡県
	偏差値	数値							
経営体に占める農産物販売金額 1,000 万円以上の経営体の割合 (%)	53.4	21.3	17.0	35.5	15.6	17.2	4.0	18.2	10.9

※「農林水産省：2015 年農林業センサス」より作成

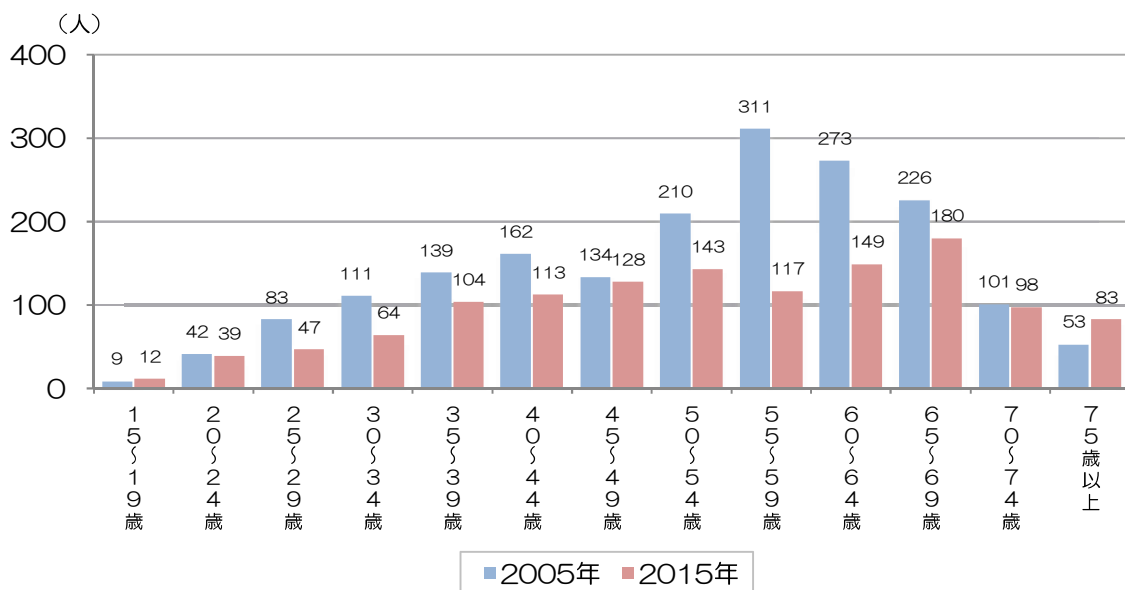
2 水産業

(1) 漁業就業者の状況

2005 年 1,854 人と 2015 年 1,277 人の漁業就業者数を比較すると、577 人減少していますが、減少率 31.1%は県全体の 32.4%を下回っています。

漁業就業者の定着率をみると、2005 年に 34 歳以下だった世代において 1 を上回っている一方、それより上の世代では 1 を下回っています。

年齢階級別漁業就業者数の推移



※「総務省：国勢調査」より作成

漁業就業者に関する指標（他市等との比較）

	柳川市		八女市	筑後市	大川市	みやま市	大牟田市	久留米市	福岡県	国
	偏差値	数値								
漁業就業者数										
減少率 (%)	44.1	31.1	-100.0	0.0	29.5	51.5	31.8	-22.2	32.4	28.8

※「総務省：国勢調査」より作成。減少率は 2005 年と比較した 2015 年の減少割合を示す

<用語解説>

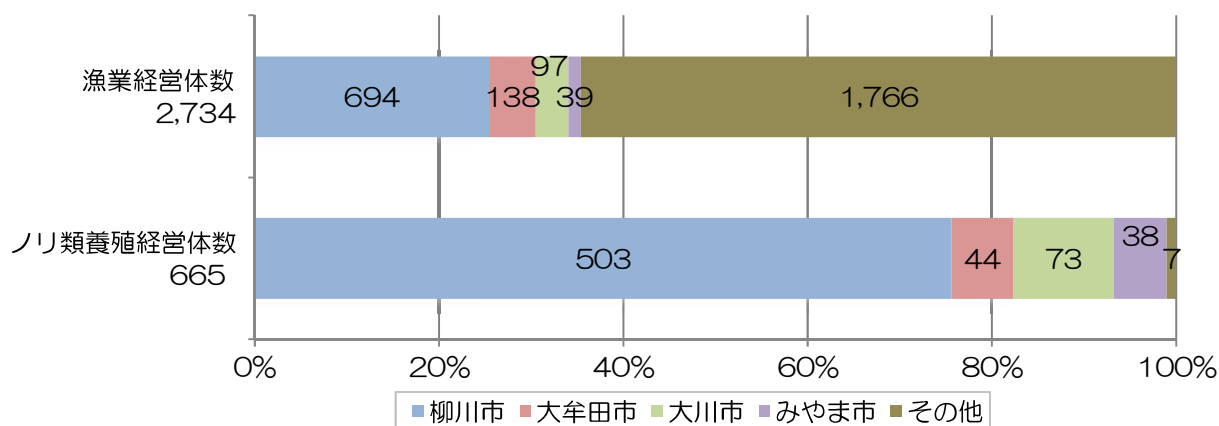
定着率は、ある世代の 2005 年の就業者数が 2015 年にどのように変化したかを示す（例：2015 年の 25～29 歳就業者数／2005 年の 15～19 歳就業者数）。

(2) ノリ生産の状況

2013 年の柳川市の漁業経営体は、県全体の 25.4%を占めていますが、ノリ類養殖に限定すると 75.6%と大半を占めています。

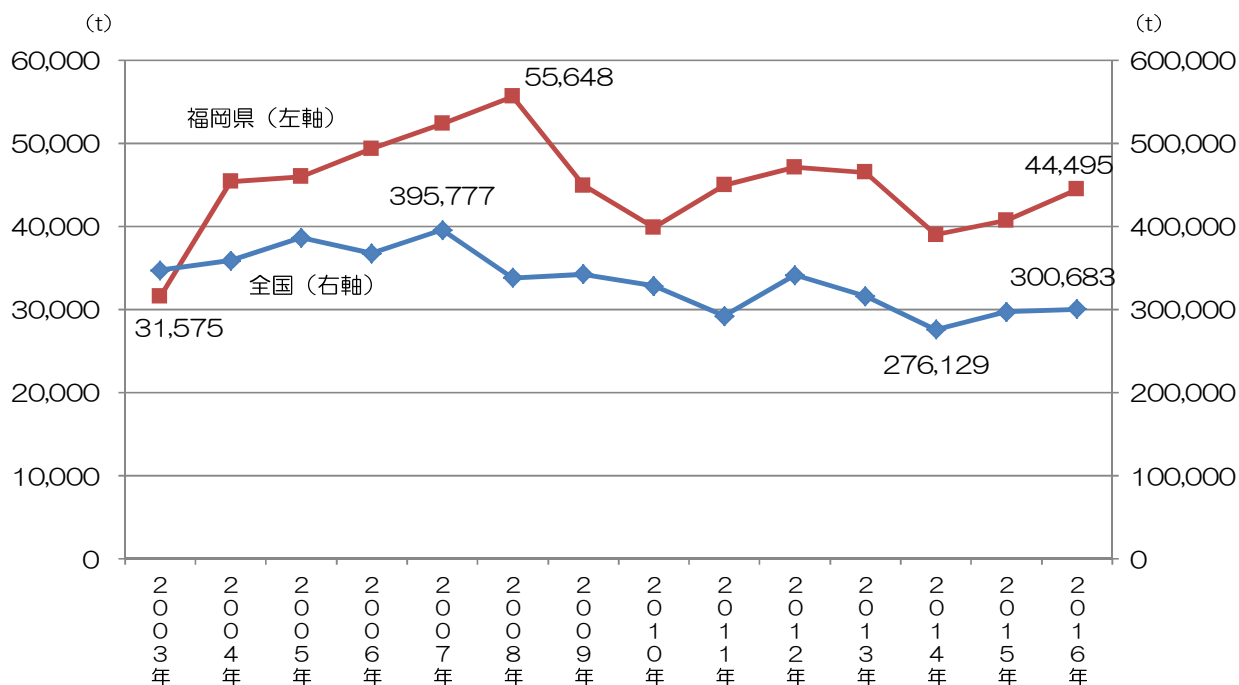
ノリの収穫量、単価、漁労収入をみると、近年は増加・上昇傾向にありますが、特に 1 経営体あたりの漁労収入の上昇幅が大きくなっています。

市町村別漁業経営体の内訳（2013 年・福岡県）



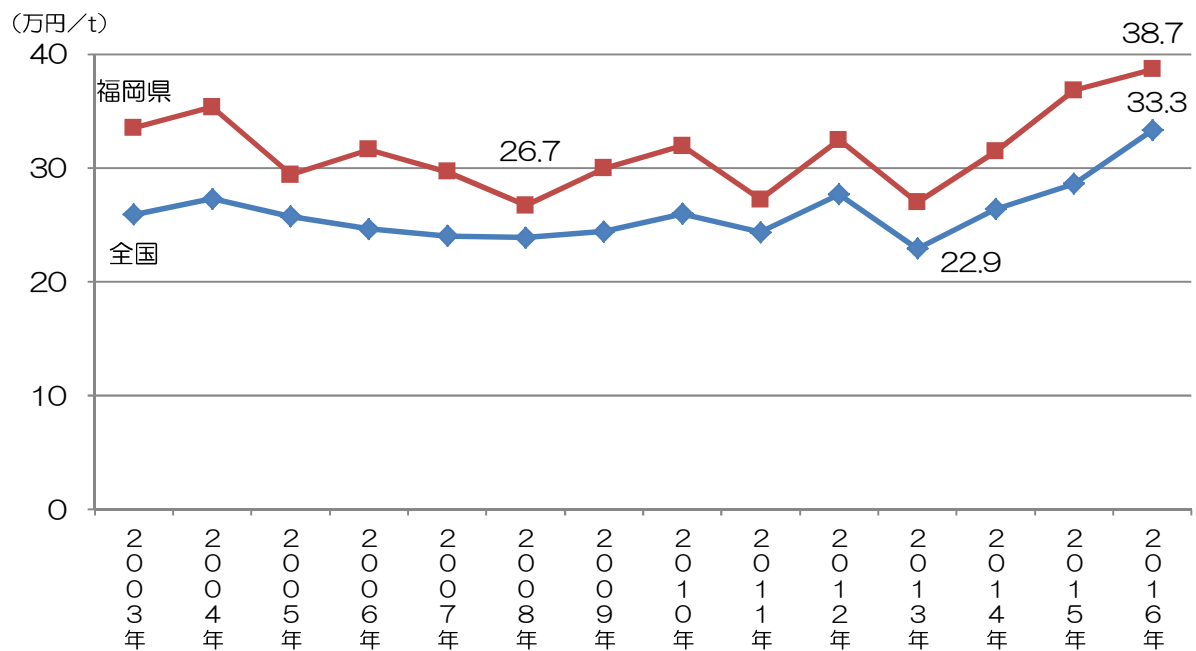
※「農林水産省：2013 年漁業センサス」より作成

ノリ収穫量の推移（国・福岡県）



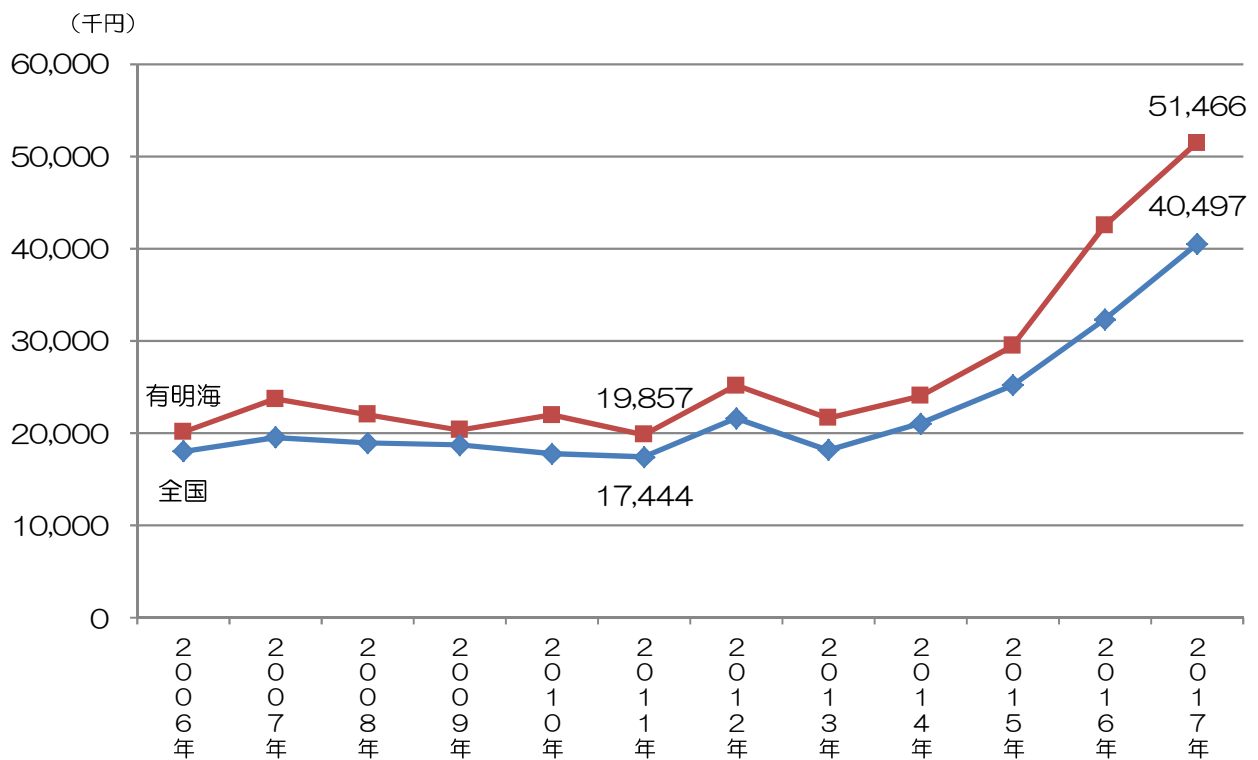
※「農林水産省：漁業・養殖業生産統計」より作成

1 t あたりの海苔単価の推移（国・福岡県）



※「農林水産省：漁業・養殖業生産統計」「農林水産省：漁業産出額」より作成

ノリ類養殖業1経営体あたりの漁労収入の推移（国・有明海）



※「農林水産省：漁業経営調査報告」より作成

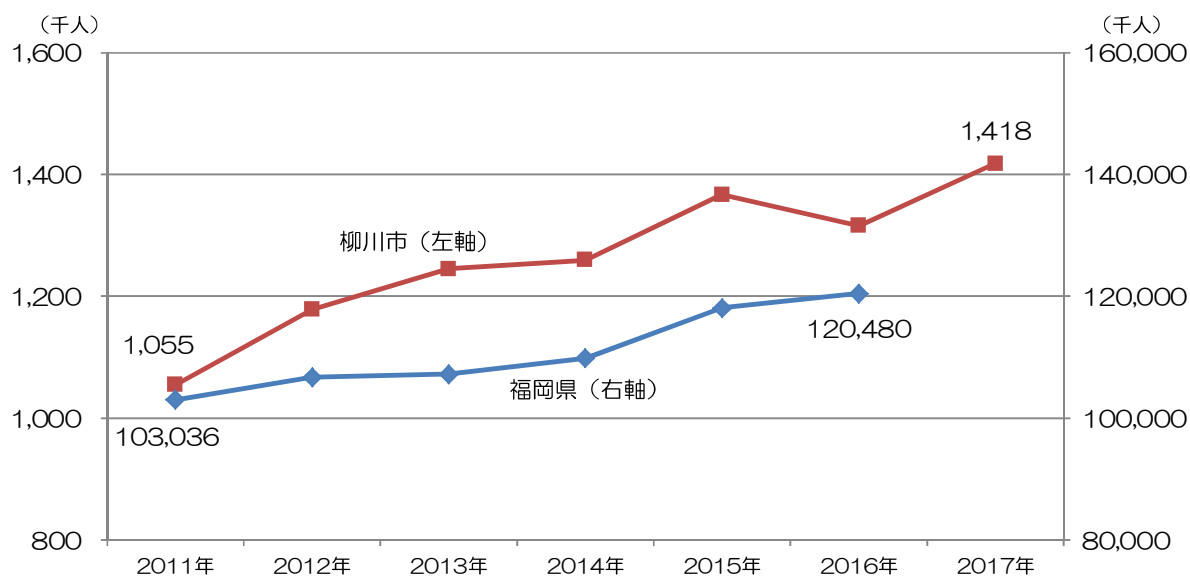
3 観光業

(1) 観光入込客数の状況

柳川市の観光入込客数は、2011 年に東日本大震災の影響や有明花火フェスタ開催自粛に伴い大きく減少しました。その後、上昇傾向が続き、2017 年の観光入込客数は過去最多の約 142 万人に達しています。

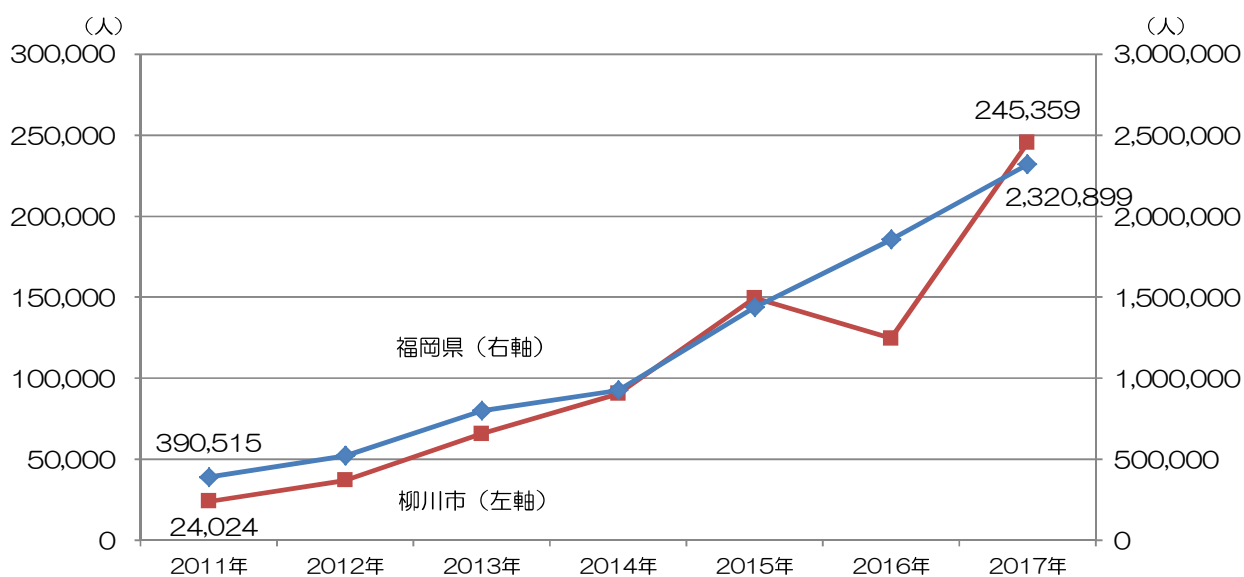
外国人観光入込客数は 2011 年以降増加が続き、2017 年は、2011 年の 10 倍以上の約 25 万人に達しています。

観光入込客数の推移



※「柳川市：観光動態調査」「福岡県：観光入込客推計調査」より作成

外国人観光入込客数の推移



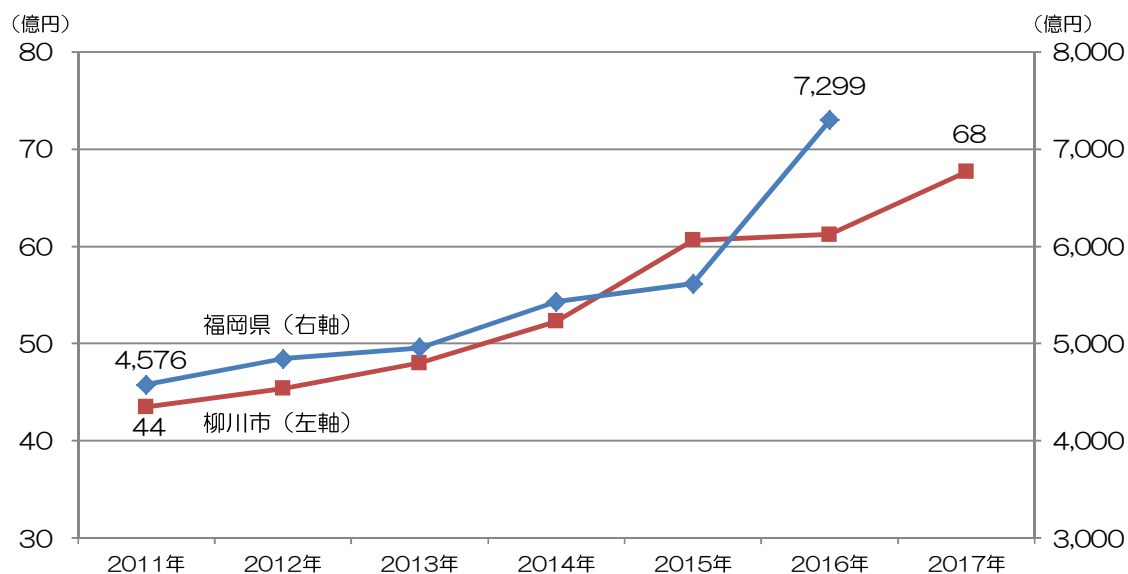
※「柳川市：観光動態調査」「内閣府：RESAS」より作成。福岡県の外国人観光入込客数は、観光・レジャー目的で訪問した外国人数を示す

(2) 観光消費額の状況

観光消費額は、2011 年以降、観光入込客数の増加や 1 人あたりの観光消費額の上昇により増加し、2017 年は過去最高の 68 億円に達しています。

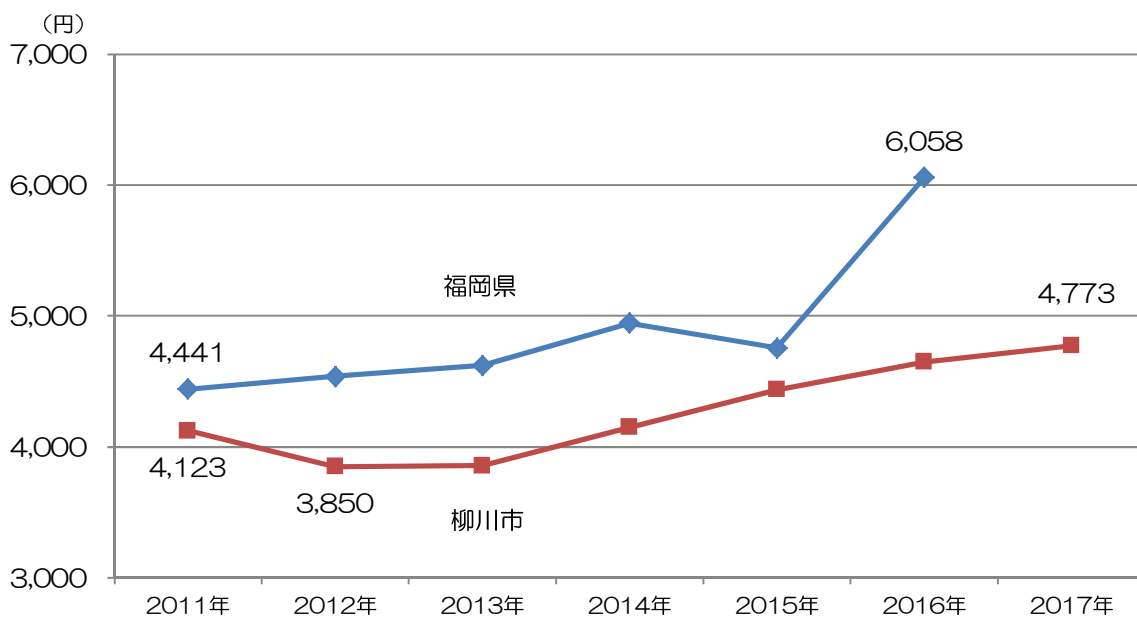
1 人あたりの観光消費額は 4,000 円前後で推移してきましたが、2013 年以降上昇し、2017 年は過去最高の 4,773 円に達しています。しかし、県全体を下回る水準で推移していることから、今後は、観光入込客の増加とともに、滞在時間の延伸等による観光消費額の増加策を促進していく必要があると考えられます。

観光消費額の推移



※「柳川市：観光動態調査」「福岡県：観光入込客推計調査」より作成

1 人あたり観光消費額の推移



※「柳川市：観光動態調査」「福岡県：観光入込客推計調査」より作成